



Q 新教育長に鶴ヶ島の教育を問う

A 教育振興基本計画を基本とする

齊藤 芳久 議員

- 質問一** 鶴ヶ島の教育の目指すものは。
- 二** 鶴ヶ島の教育の問題点は。
- 三** 教員採用対策について。
- 四** 教育委員の基本活動について。
- 五** 教育要覧・点検評価報告書の扱いについて。
- 六** 学区審議会の答申の扱いは。
- 答弁一（教育委員長）** 鶴ヶ島市教育振興基本計画では、学校教育及び社会教育の八つの基本目標を定めており、この基本計画を基本として、教育行政を進めていく。
- 二** 質の高い学校運営の推進と組織体制の確立が大切で、学校の基礎体力を強化し、学校がしっかりと立つことが最大の課題になる。そのためには家庭や地域の支えや支援が必要である。
- 三** 質の高い学校運営のために力

- 量のある教員を本市に採用できるように、県教育委員会と連携を図る。
- 四** 合議制の執行機関として、教育委員会の会議で教育に関する基本方針等を審議することである。
- 五** 教育要覧は、本市の教育行政の概要が分かるように作成している。点検評価報告書は、前年度の取り組み状況を評価分析し、よりよい教育行政を推進していくことを主眼としている。
- 六** 答申を最大限尊重していく。

Q 開かれた学校づくりについて

A 保護者や地域住民の要望を反映

出雲敏太郎 議員

- 質問一** 開かれた学校づくり実現のための政策は。
- 二** コミュニティ・スクールへの本市の取り組みは。
- 答弁一（教育委員長）** 各学校では、年度当初に保護者や地域住民に教育目標、教育計画等の説明を、年度末にはその達成状況等に関する

自己評価を行い、保護者や地域住民に公表している。

平成23年度からは全ての学校に学校応援団を設置し、学校応援団コーディネーターが中心となって、地域で活躍している方に学習支援、学校内の環境整備、登下校時の見守り活動などの支援をいただいで



いる。今後もさらに充実した取り組みが展開できるように支援していきたい。

二 コミュニティ・スクールは、公立学校の教育に対する地域住民の多様な要請に応え、信頼される学校づくりを進めるために、保護者や地域住民の代表などが一定の権限と責任を持って学校運営に参画することができる制度である。

地域に開かれ、地域に信頼される学校の実現のために、各学校に設置されている学校協議会を充実していくので、導入は考えていない。

◎その他の質問 メールによる緊急連絡網の整備について